

危険な

トカラ～奄美諸島で…

オスプレイの飛行訓練?!

危険な「オスプレイ」が日本へ配備。

米国政府は、6月29日、米海兵隊の垂直離着陸機MV22オスプレイの日本への配備を日本政府に正式に通告しました。配備予定の24機のうち12機は7月下旬、山口県の岩国基地に陸揚げされ、同基地で飛行訓練を行い、10月初旬に沖縄県の普天間基地で本格運用しようとするものです。

これは、山口県と沖縄県だけの問題ではありません。6月22日に、九州防衛局は、米国防省が、MV-22オスプレイの飛行訓練を本県のトカラ列島と奄美諸島で行う計画を明らかにしたことを、県に説明しました。

オスプレイは、開発・試験段階から墜落事故をくりかえしている欠陥機です。実践配備後も事故が相次ぎ（表1）、今年4月にモロッコで、6月には米国で墜落したばかりで、7月にも、機体のトラブルで、米国の民間空港に緊急着陸しています。

これまで、米軍機による低空飛行訓練が、県内各地で目撃されており、住民は不安を募らせています。オスプレイのような欠陥機による低空飛行訓練が、その訓練ルートにあたる地域の住民生活に耐えがたい危険をもたらすことは明白であります。

県民の安心・安全な生活を守るためにも、オスプレイ配備反対の運動を全国と連帯して広げていきましょう。

米軍が明らかにした

6つの低空飛行訓練ルート



トカラ列島～奄美諸島
パーブルルート

専門家も墜落の危険性を指摘

アメリカ政府直属の国防分析研究所でオスプレイの分析・評価に従事したアーサー・レックス・リボロ氏は、MV22オスプレイは「オートローテーション能力を欠いている。」と証言しています。オートローテーションとは、ヘリコプターが空中でエンジンを停止した際、落下時の下方からの気流を利用し、ローターを回転させて揚力を得ることにより、安全に着陸するための機能と操縦技術のこと。

リボロ氏は「安全にオートローテートできないことは、今ではメーカーも海兵隊も承知している」と証言。エンジンが停止した場合、航空機モードへの切り替えには12秒要し、488mの高度を失うと、墜落の危険を訴えています。

日本の航空法では飛行禁止

オートローテーション能力がない回転翼機は、日本の航空法では、飛行が禁止されています。オスプレイのような回転翼機は、本来ならば飛行が禁止されることとなります。

にもかかわらず、野田政権が、「機体に不具合はない」という米政府の説明をうのみにして、配備を容認したことは、異常なアメリカ追従の姿勢と言うほかありません。

オスプレイとは

オスプレイは、米海兵隊普天間基地に配備されているCH-46中型輸送ヘリの後継機。ローター（回転翼）のモードを変えて、固定翼機とヘリコプターの両方の機能をもち合わせる輸送機。短距離でも離着陸や、豊富な輸送力と飛行能力を併せ持ち、多様な軍事作戦に対応するために開発された「殴り込み部隊」の軍用機です。

●表1：オスプレイの主な事故

発生日時 (現地時間)	概要	死傷者数	原因
1991年 6月	デラウェア州の工場で試作機が初飛行の離陸時、制御不能となり墜落	2人軽傷	飛行制御装置の配線ミス
1992年 7月	バージニア州のポトマック川に飛行試験中の試作機が墜落	7人死亡	漏れた油がエンジン熱により発火
2000年 4月	アリゾナ州の空港で兵員輸送の実用試験中で墜落	19人死亡	操作ミス
2000年12月	ノースカロライナ州で訓練を終え基地に戻る途中で墜落	4人死亡	エンジン部の油圧管が破裂
2006年 3月	ノースカロライナ州の基地で、飛行前の点検中に9分上昇した後落下	けが人なし	不明
2007年11月	ノースカロライナ州の基地周辺を飛行中、エンジン部から出火し着陸。エンジン部損傷	けが人なし	油圧ラインの破損による油漏れ
2010年 4月	アフガニスタンで実戦配備の空軍機が視界不良に陥り墜落	4人死亡	不明
2012年 4月	アフリカ北部モロッコでの合同演習中に墜落	2人死亡 2人重傷	不明
2012年 6月	フロリダ州での訓練中に墜落	5人負傷?	調査中

(沖縄タイムス7月6日付)

ご意見・ご要望を
ぜひおよせください



一人で悩まずに、お気軽にご相談ください。

099-286-3977 (日本共産党県議会控室)

099-251-7333 (日本共産党県委員会)

099-295-8776 (日本共産党まつざき真琴吉野事務所)

※吉野事務所は、毎週木曜日14:00~16:00の間においでいただくか、お電話ください。